

令和元年度 事務事業評価(平成30年度実施事業事後評価)シート / 令和2年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	099									
事務事業名	生涯学習センター運営管理経費					補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計	款	10	項	05	目	10	事業	01
担当部	教育委員会	担当課	生涯学習課	担当係	文化	係														
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称: 公共施設等総合管理計画)					根拠法令及び市条例等	<input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条令・要綱・規則等 (名称: 生涯学習センターの設置及び管理に関する条例)													

2 事務事業の目的											
当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどうか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。											
現状課題	生涯学習センターは、創作や文化活動の場として市内外からの利用も多く、稼働率の高い施設である。しかし、平成8年に建築された当館は、20年以上が経過し老朽化も進んでいる。貸館として利用者の安全に配慮した管理は義務であり、経年劣化による施設・設備の不具合は計画的に修繕を実施していく必要がある。					誰・何を対象に	施設利用者 サービス低下に陥る修繕必要箇所			望ましい状態	当センターは有料施設であるため、利用者に対して最良の状態サービスが提供できる施設でなければならない。
どのような方法・手順で						学習の場の提供 定期的な点検による管理および計画的な修繕の実施					

3 事務事業の主たる成果指標										
数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。										
指標名	利用者数	単位	人	目標値	100,000	目標年次	2021	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	過去の実績を勘案して、達成可能な数値を目標とした。

4 事務事業の実績 ㊦															
当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。															
年度	平成28年度			平成29年度			平成30年度								
	業務名	活動量		業務名	活動量		業務名	活動量							
事務事業を構成する主な業務	① 業務管理委託	12回		① 業務管理委託	12回		① 業務管理委託	12回							
	② 警備委託	12回		② 警備委託	12回		② 警備委託	12回							
	③ 設備機器保守管理委託	2回		③ 設備機器保守管理委託	2回		③ 設備機器保守管理委託	2回							
	④ 清掃業務委託	12回		④ 清掃業務委託	12回		④ 清掃業務委託	12回							
	⑤ エレベーター保守管理委託	12回		⑤ エレベーター保守管理委託	12回		⑤ エレベーター保守管理委託	12回							
	⑥ 電気保安管理委託	6回		⑥ 電気保安管理委託	6回		⑥ 電気保安管理委託	6回							
	⑦ 火災報知機等保守管理委託	2回		⑦ 火災報知機等保守管理委託	2回		⑦ 火災報知機等保守管理委託	2回							
	⑧ 防火対象物点検委託	2回		⑧ 防火対象物点検委託	2回		⑧ 防火対象物点検委託	2回							
	⑨ 空調機械保守管理委託	2回		⑨ 空調機械保守管理委託	2回		⑨ 空調機械保守管理委託	2回							
	⑩ 自動ドア保守管理委託	2回		⑩ 自動ドア保守管理委託	2回		⑩ 自動ドア保守管理委託	2回							
	⑪ 環境設備委託	5回		⑪ 環境整備委託	5回		⑪ 特殊建築物定期報告業務委託	1回							
	⑫ 特殊建築物定期報告業務委託	1回		⑫			⑫ 生涯学習センター 屋上防水改修工事	1回							
目標値に対する実績値		38344 人		目標値に対する実績値		61501 人		目標値に対する実績値		53475 人					
決算額	計	14,849,115 円	内訳	特定財源	1,270,690 円	計	21,852,126 円	内訳	特定財源	2,211,600 円	計	27,994,182 円	内訳	特定財源	2,187,785 円
				一般財源	13,578,425 円				一般財源	19,640,526 円				一般財源	25,806,397 円
		(住民一人あたりの行政コスト)		244 円		(住民一人あたりの行政コスト)		361 円		(住民一人あたりの行政コスト)		467 円			

5 担当者評価 ㊦									
実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	目標未達成	成果内容	1階PAC7(事務室系統)およびPAC6(エントランスホール系統)の空調設備の不具合によって利用に制限がかかるなど、利用者にとって不便をきたしていることから、前年度を上回る利用者数とはならなかった。						
問題点	近年、当施設は老朽化の進行によって修繕を要する箇所が顕著になっている。これらを計画的に修繕し、最良のサービスを提供することにより利用者の増加を目指す。								

6 担当部長及び担当課長評価 ㊦									
担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性									
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	空調設備が故障しており、全面的な取替工事が必要なため拡充とした。								

7 実施計画 ㊦																		
今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																		
年度	令和元年度			令和2年度			令和3年度											
事業内容	○業務管理委託 シルバー△1人 △1,960千円 ○警備委託 ○設備機器保守管理委託 ○清掃業務委託 ○エレベーター保守管理委託 ○電気保安管理委託 ○火災報知機等保守管理委託 ○防火対策物点検委託 ○空調機械保守管理委託 ○自動ドア保守管理委託 ○環境整備委託 ○舞台吊物電気制御部交換工事 ○学習センターエアコン改修工事 ○防火設備定期検査報告業務委託			○業務管理委託 ○警備委託 ○環境整備委託 ○舞台吊物ワイヤー・引綱ロープ交換修繕 以下の業務は公共施設包括管理業務の中で実施 ○防火設備定期検査報告業務委託 ○設備機械保安管理委託 ○清掃業務委託 ○エレベーター保守管理委託 ○電気保安管理委託 ○火災報知機等保守管理委託 ○防火対象物点検委託 ○空調機械保守管理委託 ○自動ドア保守管理委託 ○特殊建築物定期報告業務委託			○業務管理委託 ○警備委託 ○環境整備委託 ○音響機器交換修繕 ○貯水槽水位及び配管更新工事 以下の業務は公共施設包括管理業務の中で実施 ○防火設備定期検査報告業務委託 ○設備機械保安管理委託 ○清掃業務委託 ○エレベーター保守管理委託 ○電気保安管理委託 ○火災報知機等保守管理委託 ○防火対象物点検委託 ○空調機械保守管理委託 ○自動ドア保守管理委託 ○特殊建築物定期報告業務委託											
	成果指標	指標名	利用者数	単位	人	目標値	100,000	指標名	利用者数	単位	人	目標値	100,000	指標名	利用者数	単位	人	目標値
予算額	歳出	計			21,187 千円	歳出	計			15,948 千円	歳出	計			13,415 千円			
		特定財源			2,673 千円		特定財源			2,690 千円		特定財源			2,690 千円			
	歳入	一般財源			18,514 千円	歳入	一般財源			13,258 千円	歳入	一般財源			10,725 千円			
		計			21,187 千円		計			15,948 千円		計			13,415 千円			

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については費用対効果が最も高いことが期待される2019年度の一般財源予算額の金額以下の予算要求を行うべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。本施設は、創作や文化活動の場として多くの方に利用されている。有料施設として施設管理には万全を期すべきである。ただし、修繕費の増加なども考慮し、使用料の見直し等も含めて検討すること。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㊦									
事務事業の方向性									
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由	学習機会や活動場所へのニーズは、セカンドライフ世代の増加に比例し、増大している。生涯学習センターについては、稼働率が高い施設であるが、経年劣化による施設・設備の整備が必要であるため拡充とする。								

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㊦									
実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容	令和元年度から日中の従事職員を2人体制に縮小し、委託料の削減を図っている。また、故障していたエアコンについても、改修を進めて施設使用上問題のない所まで改善が図られた。音響・照明設備などについては老朽化による不具合が多く引き続き改修や交換部品のストックを図る必要がある。								